議会だより

Shari Town Assembly

新たなスタート 斜里町議会!

No.199　令和５年･2023年６月１日

令和５年度（2023年）　招集会議開催　5月2日

定数13名、改選後初の議会のスタートです。招集会議では、議員全員、そして町長も自治基本条例に基づき条例遵守して職務遂行することを宣誓しました。議長、副議長の選出、各常任委員会などの議会構成を決定。専決処分、人事案件、議決議案を審議し可決しました。

議員紹介

※議席順に掲載しています。

佐々木 健 佑
39歳 当選４回

木 村 耕一郎
73歳 当選11回

小 暮　千 秋
53歳 当選２回

若 木　雅 美
56歳 当選３回

佐 藤　広 之
62歳 当選１回

渡 邉　誠
43歳 当選１回

今 井　千 春
69歳 当選４回

石 井　博 美
66歳 当選１回

須 田 修一郎
68歳 当選８回

海 道　徹
69歳 当選４回

久 野　聖 一
71歳 当選４回

荒 木　敏 則
60歳 当選１回

金 盛　典 夫
77歳 当選４回

議長就任にあたって

須田修一郎

この度、第22代議長という重責を担わせていただくこととなりました。4年前、初めて確認された新型コロナウイルス感染症は、この間世界中に感染が拡大したところでありますが、今後は町民の生活に寄り添う行政運営がさらに求められていくと考えられます。

第一に優先されるべきは町民生活、生産基盤の安定と福祉の向上であります。また、開かれた議会として町民との関わりを進めていくため、議会活動の周知と広聴活動の充実は不可欠です。町民の信頼に応える議会として、議会一丸となって元気な斜里町を目指してまいります。町民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

副議長就任にあたって

海道　徹

この度の改選により議員各位のご推挙をいただき副議長に就任させていただきました。

今、地方自治体を取り巻く状況は大きく変化し、地方分権の進展に伴い議会の役割・責務が今まで以上に求められています。二元代表制のもと、議会は行政に対する監視機能を果たし、また多様性を尊重し、住民の声・意見を地域課題として、町民全体の福祉の向上と町政発展のための政策につなげていくことも重要であります。副議長として、議長を補佐し、議会の公正かつ円滑な運営と町政の推進に努めてまいります。今後とも町民の皆様の温かいご指導をお願い申し上げ副議長就任のご挨拶といたします。

海道副議長（左）　須田議長（右）

議会の構成

□議　長　須田修一郎
□副議長　海道　徹

■総務文教常任委員会　**定員6名**

委員長　今井千春
副委員長　木村耕一郎
委　員　佐々木健佑
石井博美
久野聖一
海道　徹

所管事項
・総務部、会計管理者の所管に関する事項
・選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会所管に関する事項
・教育委員会の所管に関する事項
・その他、他の委員会の所管しない事項

■産業厚生常任委員会　**定員6名**

委員長　小暮千秋
副委員長　荒木敏則
委　員　若木雅美
渡邉　誠
佐藤広之
金盛典夫

所管事項
・民生部、産業部の所管に関する事項
・農業委員会の所管に関する事項
・水道事業の所管に関する事項
・病院事業の所管に関する事項

■議会広報常任委員会　**定員6名**

委員長　荒木敏則
副委員長　渡邉　誠
委　員　小暮千秋
石井博美
佐藤広之
海道　徹

所管事項
・議会広報に関する事項
・議会ホームページに関する事項
・議会インターネット中継に関する事項

■議会運営委員会　**定員6名**

委員長　佐々木健佑
副委員長　久野聖一
委　員　若木雅美
木村耕一郎
今井千春
金盛典夫

議会運営委員会は、議会の運営等に関する事項を所管します。

議会選出議員

●斜里地区消防組合議会議員

須田修一郎
今井千春
木村耕一郎

●斜里郡3町終末処理事業組合議会議員

須田修一郎
小暮千秋
荒木敏則

議会選出監査委員

●監査委員

木村耕一郎

議会選出委員

●民生委員推薦会委員

小暮千秋
荒木敏則

●都市計画審議会委員

小暮千秋
荒木敏則
渡邉　誠

議長選挙の結果

有効投票数13票(無効票0)
須田議員　11票［当選］
金盛議員　2票

副議長選挙の結果

有効投票数12票(無効票1)
海道議員　12票［当選］

斜里町自治基本条例に基づき、議員全員が臨時議長唱和に合わせ宣誓を行いました。

専決処分

・町税条例の一部改正
令和5年4月1日税制改正に伴い、条例改正された内容を承認しました。

・令和4年度一般会計補正予算（斜里町油濁事故対策事業）　**48万円**
斜里町内で発生した油濁事故の対応経費として内容を承認しました。

・令和5年度一般会計補正予算（新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業）　**4186万円**
特定臨時接種が期間延長となったことから、令和5年春開始接種の対象者にワクチン接種体制を確保する内容であり、これを承認しました。

議決議案

・工事請負契約（ウトロ環状道路整備工事）**の締結**
契約金額　**6435万円**
歩道拡幅およびロードヒーティングの更新

・財産（粗大ごみ破砕機）**の取得**
契約金額　**3866万円**
エコクリーンセンターで使用している粗大ごみ破砕機の更新

・財産（ごみ運搬車両）**の取得**
契約金額　**2486万円**
堆肥、廃棄物や土砂等を運搬するダンプ1台を購入

・令和5年度一般会計補正予算（子育て世帯生活支援特別給付金事業）　**603万円**
食費の物価高騰等の影響を特に受けている低所得の子育て世帯への給付

人事案件（敬称略）

・監査委員（議会選出）
木村耕一郎
全会一致で同意されました。

３月定例会議　令和５年３月８日～14日

３月定例会議が開催されました。一般質問では３名の議員が町長、教育長の姿勢をただしました。今年は改選期のため、３月定例会議では主に経常的な予算案が審議されました。このほか、議決議案、条例案の審議、意見書の採択などを行い、提案された全議案を可決しました。

政策的予算については、６月定例会議において審議される予定です。

令和５年度・新年度予算 １４８億円

さまざまな課題の中、質疑を経て可決されました。

※２月臨時会議の内容はP11に記載しています。

　　は質疑応答

定例会議８日初日、令和４年度の事業実施における追加、更正などの計上です。主な補正予算は次の通りです。

令和４年度一般会計補正予算（第12回）総額97億９１９９万円

【総　務】

・地域おこし協力隊事業費　(DX・情報発信)△８６８万円

令和４年度は応募がありませんでしたが引き続き募集します。

久野議員　ＤＸ推進計画は？関連するマイナンバーカードの普及率は？
総務　ＤＸ推進計画は取り組み中です。
住民　マイナンバーカードの町内普及率は、８割となっています。

【観　光】

・ウナベツスキー場運営助成金　８７０万円

櫻井議員　維持管理の運営に関して、町として事業整備すべきでは？
観光　課題は多々ありますが、管理する団体と協議を進めます。

・観光施設整備事業費更正　△１５万円

夕陽台エリア・ウトロ道の駅再整備ワークショップ等の事業更正です。

櫻井議員　令和４年度、推進できなかった部分はどのように展開していきますか？
観光　知床の観光にとっては、大きな事業であると認識しています。課題を整理して推進していきます。

【総　務】

・低公害車購入事業（脱炭素化事業）

脱炭素化を目的として、公用車を低公害車に更新します。令和４年度予算から６台購入予定。

櫻井議員　低公害車購入について、ウトロに配備のＰＨＶ車は防災に対し有効とされています。全車でなくとも防災対応の調査もし、より有効な配車の検討をしては？
総務　防災の有効性も考慮し検討します。

・遊覧船事故対応事業　２５０万円

４月23日に予定されている遊覧船事故追悼式実行委員会への助成金を基金から支出します。

久野議員　追悼式の主催者、共催が町という形ですが、なぜ実行委員長は町長でないのでしょうか？
総務　実行委員会開催で、追悼式では町長が式辞を述べさせていただく予定です。

・ふるさと応援「いきいき」基金積立金　６０００万円

久野議員　子どもの医療費無償化事業の資金準備と、捉えてよいのですか
総務　議員各位からも提案がありました事業です。政策的事業として財源の確保ができたため準備を進めています。

令和5年度・新年度予算・議決議案

●一般会計　87億1366万円

■特別会計
●[国民健康保険特別会計]17億1229万円
●[森林保全特別会計]　5340万円
●[公共下水道特別会計]　7億3037万円
●[介護保険特別会計]　12億3436万円
●[後期高齢者医療特別会計]
1億9678万円

■企業会計
●[病院事業会計]　14億8660万円
●[水道事業会計]　7億5778万円

□主な投資的事業等
・まち・ひと・しごと創生総合戦略事業
6092万円
・人材確保に地域おこし協力隊(13名)
6488万円
・姉妹町・友好都市盟約記念事業
1909万円
・町道整備・長寿命化事業　2億5732万円
（ウトロ環状道路、中斜里６号道路、
青葉西２丁目通、他７路線）
・町営住宅改善事業(光陽東)　8530万円
・学校長寿命化改良事業　2億830万円

などが骨格予算として３月議会で計上されました。

条　例

●条例制定
・斜里町議会の個人情報の保護に関する条例
・斜里町個人情報保護法施行条例
・斜里町個人情報保護審査会条例
３件の条例を制定しました。
法律の施行に関し必要な事項を定めるものです。

●条例改正
斜里町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例他、計４件の条例を改正しました。

意　見　書

・食料安全保障の強化及び食料･農業･農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定化を求める意見書
提出者　若木　雅美
＊関係機関に送付しました。

【商工観光】
・コロナ感染対策等事業費で実施事業
いくつかの事業が実施されましたが、その効果と今後に向けての質疑

若木議員　観光プロモーション事業の実施成果は？デジタルクーポンは？
櫻井議員　課題と今後は？
商工　ブランディング、バスラッピング、データーの収集など進めてきました。
デジタルクーポンは一定の成果があったと捉えています。今後の利用は商工会とも協議を進め検討していきます。

【総　務】
・一般管理費に関連
職員の管理に関わる質疑

若木議員　知床事故対応に当たった職員の方々への、メンタルヘルスの対応、心のケアについての対応は？
総務　事故から一定期間の間、抱え込まないために、話し合いなどを持って状態を共有するなどを実施しています。

□令和４年度 特別会計・企業会計補正予算

●【国民健康保険特別会計】
18億2134万円
●【森林保全特別会計】　5322万円
●【公共下水道特別会計】8億9943万円
●【介護保険特別会計】　12億9863万円
●【後期高齢者医療特別会計】
1億9225万円

○【病院事業会計】　16億1330万円
・人工透析増床事業　1994万円
一部工事において、資材調達に時間を要することから工期延長となりました。
○【水道事業会計】　6億4036万円

以上、令和４年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算、条例などの議案は全会一致で可決されました。

暮らす予算

新年度（令和5年度）事業全般に関する総括質疑

2023年３月８日より再開された議会は、補正予算、条例、議決議案、新年度予算などについて質疑されてきました。

「総括質疑」は新年度予算に関する質疑終了後に、全体予算、まちの事業推進などに関する、予算案全体に関わる質疑となります。今定例会議では２日間に渡り７名の議員が総括質疑を行いました。質問は、主に町長、もしくは副町長、教育長が答えます。主な質疑内容の抜粋を掲載します。

今 井　千 春　議員

・自主財源　ふるさと納税と宿泊税

●ふるさと納税は、他自治体の取り組みも参考に、もっと力を入れてはどうですか？
管内の自治体は、勢力的に取り組んでいます。
また、宿泊税の取り組み進捗状況は、どのようになっているのでしょうか？

町長　**ふるさと納税**は税のありかたも課題と捉え、活用を見極めていきたいと思います。
宿泊税はコロナ、事故などの影響を受けた事業者の状況も踏まえ、今後はタイミングを見て進めます。

小 暮　千 秋　議員

・斜里高校「地域みらい留学」

●現在実施されている取り組みの「地域みらい留学」の成果を踏まえて、現在の１年間を３年間の留学へ枠を広げるべきと考えますが、いかがでしょうか？

教育長　斜里高校の生徒にとっても高い成果があると捉えています。今後拡充していく方向で検討しています。

須 田 修一郎　議員

・町の事業と成果

●事業の成果が町民に届いていないのでは？

町長　地味かもしれませんが、町民のお金の使い道を、真剣に考え取り組んできました。成果を伝える努力もしてきましたが、さらに工夫が必要です。

●今後は町民に希望や、やる気を起こす取り組みが必要ではありませんか？

町長　何をすべきか、多方面からのアイディアを含め考えていく必要があります。

佐々木 健 佑　議員

・コミュニティつながりの再生

●人と人の繋がりがまちづくりの基本と捉えています。コロナで希薄になった今、町長はどのようにお考えですか？

町長　人と人の繋がりで生まれるものが幸せと認識しています。今後、その機会をどう作り上げていくかが大事と捉え、つながりを生み、感じる場を作っていくことを検討していきます。

・観光産業の喚起

●コロナ後の観光、飲食業の需要喚起の必要性をどのように捉えられていますか？

町長　観光は､心の栄養と捉えられる産業です。事故の試練をプラスに変えていくという努力を進め、人のつながりを生み出すイベントなどをきっかけにするなど、取り組みを模索していきます。

若 木　雅 美　議員

・農業経営の課題

●農業を取り巻く状況はさまざまな影響が懸念されます。経済政策の中で町がとるべき対応をどのように捉えていらっしゃいますか？

町長　農業は裾野の広い産業です。作物の動向は、関連する加工事業にも影響を及ぼします。ビートの減反は、環境的にも代替え作物などの栽培も簡単なものではないと捉えています。砂糖などの多様な使い方を模索するなど、需要を増やす取り組みを考えていくときと思っています。

・食育の推進

●農業者の経営をサポートするには、消費に重点を置いた対応も必要ではないでしょうか？食育などの推進も積極的に町が仕掛けるべきでは？

町長　現在行っている取り組みを、リスペクトしながら工夫し継続していくことと思っています。

新年度（令和5年度）事業全般に関する総括質疑

久保 耕一郎　議員

・産業振興での行政のリーダーシップ

●産業振興は、経済団体主導だけではなく、行政がしっかりとリーダーシップを取るべき場も多々あると思います。余市ではワイナリーを誘致するなど、行政の外側のつながりを活かし、成果を上げています。知床も同様に、農業振興など、観光連携ステージで町がしっかりと組み立てるべきでは？

町長　これまでも、基幹産業はじめ連携はしている状況です。農業と観光など､情勢を見極め、仕組みを考える必要があると思います。

●農業の不耕作地、特にウトロ地域の農耕地は観光連携に活かすべきでは？

町長　農業者自らも取り組むべきと考えます。

・福祉施設運営

●介護施設運営の難しさが顕著になっています。今後、法人、民間で担っていけるのか？直営、委託などの検討も必要では？

町長　介護環境変化の中､今後の現状を踏まえ、検討を進める時期と感じています。

・財政運営、自主財源

●投資的経費が落ちる一方で、自主財源が伸びていません。例えば、観光客のゴミ処理を町民が負担している課題など、広域化検討の中で、ウトロのゴミ処理など、**宿泊税**は早めに始めるべきではありませんか？

町長　宿泊税は、タイミングを見据え、推進していきます。

●**ふるさと納税**は、その他自主財源というスペースの中、高い目標を持って、政策として織り込んでいくべきではないでしょうか？

町長　ふるさと納税に、さらに力を入れてやっていきたい。

・人づくりへの投資

●町の成長を支える人づくりへの投資に力を入れるべきです。今後策定される第7次総合計画へしっかり盛り込むべきでは？

町長　確かに人づくりへの投資は少なかったと思っています。一方で高齢者へのバランスが難しかった。しかし、これからは、子供達の成長へ力を注いでいきたいと思います。

櫻井 あけみ　議員

・観光政策　対面の重要性

●知床の観光施設にインタープリテーション機能を有する対面情報発信が、必要ではありませんか？リスクの見える化にも有効な機能です。目、耳、会話で、現地でだからこそ取得できる情報に大きな価値があると思います。

町長　現在の施設があります。そこを有効に利用することと思います。

・教育・人材不足の課題

●来てくれる人を求めるだけでなく、現在働いている方たちへの取り組みが必要ではないでしょうか？管理する方々が職員と職場でコミュニケーションを取ることも必要です。そうした仕組みづくりが必要では？

教育長　職員とのコミュニケーション、各職場との意思の疎通なども大切だと思います。どのような仕組みづくりができるかなどについて、今後は検討してきたいと思います。

・人材不足の深刻さ・対応は

●現在の町政運営の中、どのように町の事業を運営されていますか？また、人材確保についても伺います。

副町長　業務の効率化、昨年10月に実施した機構改革、DX推進室での取り組みなどを進めることでの対応。会計年度任用職員から正職員への移動なども難しい状態。採用に関しては、待っているだけでなくスカウト、大学への訪問含めて積極的に取り組んでいます。

・町長からの町民への情報発信

●町長はまちづくりの基本は情報発信にあるとおっしゃいます。
成果が町民に届かない、との声もあります。日常の活動、取り組む事業などについて、町長自ら町民へＳＮＳを活用した発信が必要ではありませんか？

町長　なかなか日常の中、継続できない状態です。特に、知床海難事故後は全く発信することができませんでした。町長として、特に町民に向けての発信は必要なことと思っていますので、今後も励んでいきたいと思います。

議員13名での４年間の活動は、任期満了いたしました。

※令和元年６月撮影

全員協議会

町から町政全般に関わる事項や重要施策について、あらかじめ補足的な説明を受けるために、必要に応じて開催される会議です。3月定例会議では7件でした。

●第７次総合計画策定における課題（12月全協報告以降）

- 各部会協議は、個別計画・タウンミーティング等（７部会21回開催）や斜里高校生アンケート・ワークショップの実施。
- 第６次総合計画の評価・検討による、町民懇談会・アンケート意見、斜里高校生の意見等に基づいて「課題の素材」をグループ化しタイトルの整理。

●令和５年度地方税制改正の概要（関係分）

- 地方税務手続きのデジタル化の拡大。
- 生産性向上や賃上げに資する中小企業の、設備投資に関する固定資産税特例見直し。
- その他。

●斜里町再生可能エネルギー導入戦略の策定

- 「ゼロカーボン」の実現に向けて地域の環境・社会・経済の課題解決や地方創生にも貢献することを目指し、町民・事業者・斜里町が協働して地球温暖化対策の施策推進が目的。
- 斜里町再エネ導入推進協議会（12名委員）を設置し町民アンケートの実施。目標年度（2030年）に向けCO_2の46％以上の削減をめざす。

●AIによる地域公共交通実証運行事業（案）

- 町内地域交通「しゃりぐる」の定時路線運行方式から、AIを活用した予約運行制（ドアツードア）「乗合タクシー」による期間（９／１～11／30平日のみ）限定の実証運行事業の実施。
- 実証結果により令和６年度に本運行。令和７年度には、中斜里等へのエリア拡大を目指す。

●社会福祉法人斜里福祉会の経営改善計画

- 令和２年12月に斜里福祉会より運営に関して財政支援の協力依頼があり、緊急経営安定資金助成の先渡しを実施。また、地域おこし協力隊（２名）等の支援も行なった。
- その後、コロナ過で特定技能実習生の受け入れ遅延や中堅職員の多数退職が重なり経営が悪化、斜里福祉会より本年２月町に各施設の集約・特養の20床減等、改善計画が示された。

●子育て支援センター施設集約化事業

- 地域子育て支援拠点事業を担う子育て支援センターを「ぽると21」内へ移設し、妊娠期から子育て期への切れ目のない支援体制の充実を図る。
- 移設後の子育て支援センターは、双葉保育園の保育室として改修し、利用が増加している未満児保育の環境向上をすすめる。

●知床アクティビティリスク管理体制検討協議会の中間報告

- 知床遊覧船事故を踏まえ、町内で行われている自然アクティビティ実態把握とリスク分析を行い、総合的にリスクマネジメントのあり方を検討する。
- 検討委員22名（座長　石黒侑介　北大大学院観光学院准教授）他、オブザーバー・アドバイザーで構成し知床観光の信頼回復に向けて令和６年３月の報告書作成・公表をめざす。

櫻井あけみ議員

町政を問う！　一般質問　3月定例会議

町が取り組むべき知床観光の課題
任期最後に再び伺います

録画映像を動画でチェック▶

観光は大きな産業という認識で！

問　知床観光設備整備については町が取り組むべき課題、事業としてこれまで、コロナ以前からずっと、質問を繰り返してきました。

　これらの課題を、町長のやり残した課題の一つとして、捉えてよろしいでしょうか？

町長　これまでご指摘いただいてきたいくつかの課題である、観光施設整備等については、公共のものは行政でなければできないことです。

　その必要性は議員同様であり、私としても次期公約にも掲げながら、斜里を元気にするための課題として捉えています。

　また、コロナ、事故などで苦戦を強いられている観光への支援が、今後の重要課題であると認識しています。

100㎡運動地 生態系への懸念

問　域外外来種である植林されたカラマツ、アカエゾマツが、2世代3世代を超えて拡散する種子は、運動地に留まるだけでなく、世界自然遺産エリアの至る所で成長を続けています。昆虫や微生物にも影響はあります。

　隣接する知床の原生林にも影響を及ぼすことは必至です。

　今なら、まだその影響を止められるはずです。

　町の対応は？

町長　当面の間は残存させる方針です。基本的には自然の遷移に委ねる場所としています。

再質問　その遷移は、自然ではなく、人為的要因です。生態のサイクルへの影響が大きいのでは？

繁殖力旺盛で知床遺産エリア内の生態系への懸念は大！

町長　今後も生物多様性への影響に関しても検証していきます。

再質問　知床の森が運動地に隣接しています。この運動が目指すべき生態系の循環と、知床の価値の重要性は森を見れば一目瞭然です。

　町長はこの森を歩かれたことはありますか？

町長　原生の知床の森を歩いたことはありません。歩いてみたいと思います。

姉妹町などへ 児童生徒派遣を

問　竹富町、弘前市へ積極的な児童生徒の派遣を持続的に実施すべきではないでしょうか？

　関係する機関、職員の派遣など大人を対象とした交流団の実施も理解できますが、しっかりと予算含めて継続性のある検討をすべきではないでしょうか？

町長　姉妹町友好都市との交流事業に関しては、派遣と受け入れのバランスも必要です。相互でコミュニケーションを取りつつ無理のない持続可能な交流を進めてまいりたいと思います。

ウトロ義務教育学校の成果は？

問　ウトロ学校は、小中併置校のメリットを最大限生かした教育環境を地域が求めた結果、取り組みが始まりました。

　義務教育学校の成果と課題の認識を伺います。

教育長　義務教育学校制度初年度にスタートしたウトロ学校は教職員、学校長が中心となり、地域の支援を受け全国的にも注目されるなど、大きな成果として実を結んでいます。

　課題は職員の入れ替えの中、引き継ぎの仕組みづくりなどが挙げられます。

再質問　英語教育の推進の中、海外体験の機会の提供は？

　そして地域と学校の協力で実施の可能性は？

交流から得られるものは無限大

教育長　ウトロ学校の児童生徒は地域の協力もあり、英語に触れる機会や習得の機会が多く、英語検定での評価も高いと認識しています。

　しかし、実施に向けての課題は多いと感じています。どのような枠組みで実施できるのか、今後の動きの中で整理が必要と考えます。

再質問　町内の学校とウトロの学校間の交流があればと言う声もあります。

　環境も違う中で、児童生徒にとっては多様な学び、体験ができる相互に良い機会でもあると思いますが、いかがでしょうか？

教育長　良い取り組みであると思います。

　今後どのように繋げられるか検討していきたいと思います。

ウトロらしい学びの場へ
知床ウトロ義務教育学校

どうする？ 部活動の地域移行

録画映像を動画でチェック▶

小暮 千秋 議員

問 少子化と教員の働き方改革を背景に検討が進められてきた部活動の地域移行について伺います。

国からは令和5年度からの3年間を「改革推進期間」として地域の実情に応じ可能な限り早期の実現を目指すガイドラインが示されました。

斜里町でも少子化が進むなか、部の維持・存続には外部指導者の育成と確保が必要です。

現状の取り組み状況や課題についてお聞かせください。

教育長 現在、町教委では「斜里町スポーツ協会役員会」で概要説明を行っています。今後も協議を継続していくほか、先進地視察や情報収集を進めています。

現在、部活動の外部指導者は斜里中学校で3部に7名、知床ウトロ学校で1部に1名配置されています。

現時点で積極的な人材確保や育成を行っていませんが、今後は外部指導員への支援方策が必要と考えます。

再質問 具体的にはどのような支援方策をお考えですか？

教育長 現在はボランティアベースですが、今後は身分保証や報酬などを整備する必要があると考えています。また少年団関係者も含めた協議の場を検討します。

問 他校との連携も増えるなか、社会活動振興バスは他の団体も使うこと、また、15人以上からという人数制約があることから部活動専用バスの導入を検討してはいかがでしょうか？

教育長 スクールバスの一部は町所有です。小型車両の活用や運転手の確保など課題を整理し検討していきます。

ジュニアバンドや少年団活動に助かっています
「学校間移動バス」

問 試行中の学校間移動バスはジュニアバンドや習い事に通う児童、保護者に好評と聞いています。今後も継続すべきでは？

教育長 スクールバスを活用しているため、時間帯や運行日に限りはありますが、できる限りの対応をしていきたいと考えています。

生理の貧困、斜里町の取り組みは？

問 経済的理由から生理用品が入手困難であることのほかに、保健衛生教育や周囲の理解など、幅広い課題を含むものです。「子どもの貧困」は目に見えることばかりではなく自らSOSを発信できる子ばかりではありません。安心して学校生活をおくることができる環境整備のために、斜里町でも小・中学校のトイレ内に生理用品の配置を進めては？

教育長 各学校では従来から保健室に生理用品を常備し、必要な児童生徒が取りにくる方法で配布をしています。

月に2～3回程度と聞いており、早急な対応が必要な状況ではないと認識しています。

再質問 道教委では新年度から全道立学校の女子トイレ内に生理用品を配置する方針です。モデル校11校、450名のアンケート結果からは、「過去に手元に生理用品がなく困ったことがある」と答えた生徒は77・3％、「その時どうしたか」は「友達に譲ってもらった」80・3％、「トイレットペーパーで代用した」48・7％、「交換せず我慢した」27・9％でした。「どこに置いてほしいか」は「トイレの個室」94・7％、「保健室」が17・6％でした。

この結果はまさに「本音」だと思います。保健室とトイレへの両方に配置を検討しては？

教育長 誰が補充するのかなど養護教諭の負担も考慮する必要があると思いますが、各学校で協議をし、検討するよう周知をします。

再質問 学校のみならず、公共施設や災害備蓄、成人女性への支援の可能性も含め、交付金の活用も考えては？

教育長 学校以外での取り組みについては実施団体の有無や運用面の課題など、関係部署と検討していきます。

久野 聖一 議員

町政を問う！ 一般質問 3月定例会議

人口減少、地域が生き残る教育を考えてみませんか？

録画映像を動画でチェック▶

問 北海道の各自治体では、教育に対する様々な考え方を集約し各市町村の悩みを突破しようとする動きが見られています。

平取町、大空町、津別町、夕張市、また新潟県の阿賀町を訪ね、その効果など実感したところです。

その資料をもとに、これからの斜里町に考えられる人口減の中で、『地域で生き残る教育とは何か』を基本に、未来を模索する質問としてお伺いします。

道立高校に各地では様々な対策を練っており、結果を出していますが、町長と教育長それぞれの考えをお聞かせください。

教育長 どれだけ手厚い支援策があっても、高校そのものの魅力がなければ選ばれ続ける高校にはならないと考えています。

地域の素晴らしい要素、人材も含めて地域資源を高校の魅力とし、ここでしかできない学びをやっていくことが重要です。

再質問 中高連携についてどうお考えかお聞きします。

教育長 毎月定例で校長会や教頭会があり、高校の校長、教頭を招いて情報共有を深めています。

再質問 公設塾の実証事業はできませんか？

教育長 公設塾には、多額の費用が継続的に見込まれ、事業効果なども含めて慎重な対応が必要と認識しています。

高校からの要望に基づき、高校のＩＣＴ環境作りへの支援を継続していくことが重要と考えます。

再質問 斜里高校には進学課程コースがないのでは、とよく言われています。

カリキュラムの改変などを含めて、発信することが必要ではないでしょうか？

教育長 斜里高校には３つの系列があり、その中の２つが進学コースになっています。

魅力ある斜里高校へ！

理解のため、いろいろな発信に努めています。

再質問 町長にお聞きします。

先日、青少年の主張で斜里高校１年生の女性が学校の中に食堂を作って欲しいとスピーチをされておりました。それは単なる食堂ではなく、地域住民をそこに迎え入れて学校を少しでもわかってもらいたいということでした。

またいずれ学校がなくなるかもしれないと訴えておりました。

このような悲しい状況をなんとか打開してあげたいと私はその場で思いました。

町長はどうお考えですか？

町長 斜里高校を残すために何をするか。

道立高校だから、町が何もできないということはなく、覚悟次第だと思っています。

選ばれる要素を見い出していく地域みらい留学も含めて、様々な可能性を見て進めていきたいと思います。

全員協議会

斜網地区広域ごみ処理基本計画（案）の策定

ごみ処理施設の広域化を進めるため、網走市、美幌町、斜里町、小清水町、大空町の１市４町で令和５年度から令和１４年度を目標年度とします。その間に、必要な見直しを検討し、町民懇談会、地域説明会等を行い、令和９年度を中間目標年度に設定するとの報告を受けました。

「仮称：令和５年４月23日知床遊覧船事故被害者追悼式～わたしたちは忘れません」

被害者家族、行政機関、地元関係者等、約150名を想定し知床遊覧船事故被害者追悼式と知床観光の安全を誓う式を挙行する内容の説明報告を受けました。

臨時会議 2月2日

一般会計補正予算（第11回）総額96億493万円

- **生活者支援事業費追加　７２０万円**
- **新型コロナウィルス感染症対策事業費**
  感染症予防対策備品購入費　２５３万円
  （ゆめホールの各室に空気清浄機を設置）

櫻井議員 多くの感染対策を町民の健康と命を守るために対応されてきました。効果、成果はどう検証されるのでしょうか？

民生 各施設の感染対策の充実が図られたと認識しています。

櫻井議員 コロナ感染３ヶ年の町内の死亡者数などの変化は？

民生 コロナ以前の死亡者数は平均で130名位前後で推移。令和２年139名、令和３年158名、令和４年179名です。

議会モニターへの
議会運営委員会
説明会
3月3日

●３月定例会議に伴い、モニターが傍聴・配信視聴した時の参考になるよう、説明会を開催しました。

・２月臨時会議の主な結果と３月定例会議の主な内容
①一般議案　②条例案　③新年度予算の主な内容　等
・斜里町議会・斜里町全般

●モニターからは
・「ウトロ環状道路整備事業」とはどのような内容か？
・「にぎわい創出イベント等支援事業」の募集期間や採択の方法は？
・３月13日からマスクは個人の判断になりますが、議会の対応は？

等々の質問や意見をいただきました。

議会モニターから今期活動を終えて

大住さん

定例会後に懇談会を設けていただき、皆さんの話が聞ける事が良かったと思います。町の課題に取り組む議員の皆さんの大変さを知る事が出来ました。

田中さん

モニター参加で議会が近く感じるようになりました。素朴な疑問が明確になり楽しく感じました。議会というワードの食わず嫌いも薄れたかも知れません。

井南さん

議会モニターの役割を果たしていたのか、モニター活動が議員皆さんの議会活動にどの様に反映されたのか不明瞭でありました。

本宮さん

普段議員の皆さんと直接お話できる機会がなかなかなかったので貴重な機会でした。私達町民にとって、議会が少しでも身近なものになっていくようモニター制度が継続される事を願います。

武藤さん

町政について自ら知る行為をすることが重要であると認識しました。YouTubeの配信を活用し視聴できる環境をこれからも利用しようと思います。

藤谷さん

町民が議会の運営や政策をチェックして提言する、それがモニター制度を取り入れた目的と思って活動させてもらいました。町民の皆さんがモニターになり、学習することによって一緒に町づくりに参加すべきだと思います。

議会を身近に感じてもらうには、町民が積極的に議会を傍聴することが大事だと思いました。

議会モニターの皆さん、コロナ感染などの中でのモニター活動誠にありがとうございました。

３町議員研修会　小清水町アグリハートへ！

2023年2月24日　●講師　小清水町産業課長　畔木 雅之 氏

アグリハートセンター（農業拠点施設）の整備・運営について

●新型コロナ感染症、円安に伴う外国人技能実習生の減少、新規販売商品の開発など課題がある中で、農業担い手育成プロジェクト(地方創生推進交付金)を活用して小清水高等学校跡地活用基本構想を策定しています。

●基本構想では、①通年雇用の場づくり②農業を核とした雇用創出や農福・農観連携による関係人口の創出③地域生産振興と販売力向上に向けた加工施設づくり④地域のコミュニティ施設づくり、などを掲げ、宿泊やコミュニケーションの場が設置された施設となっていました。

委員会活動報告

斜里町議会では、常設の四つの委員会のほか、特定の事件を審査するための特別委員会を設置し、各々の役割を持って活動しています。それぞれの委員会では、これまでの４年間どのようなことを行ってきたのか、その様子や内容をお伝えします。

総務文教常任委員会（久野聖一 委員長）

●ごみ処理施設の中間処理広域化の動きに伴い、発電など地域に還元している最新のごみ処理施設を見学しました。
＊茨城県竜ケ崎市塵芥処理組合
＊水戸市清掃工場『エコみっと』

●『教育問題』生徒の学力低下に対する公設民営塾等の設置状況、道立高校の存続問題などを見学しました。
＊平取義経塾の取り組み
＊大空高校の町立化へ向けた取り組み
＊過疎対策としての津別高校の改革
＊夕張高校の魅力プロジェクト
＊斜里中学校学力向上対策

産業厚生常任委員会（小暮千秋 委員長）

●今期４年間のテーマ『まちの資源』に基づき重点調査項目を定めてきました。

○各年度のテーマは

・令和元年度「子育て支援」
・令和２年度「コロナ対策」
・令和３年度「マンパワーの確保」
・令和４年度「知床観光のあり方」

所管する各産業・病院・保育・介護等福祉全般にわたり道内外の先進地調査及び町内調査を実施してきました。
高齢者福祉施策の見直しやコロナ禍、遊覧船事故など大きな課題に直面した４年間となりました。

議会運営委員会（佐々木健佑 委員長）

●今期の４年間に議会運営委員会では

○各種本会議の議事日程

○委員会のオンライン開催

○ペーパーレスの本格運用　等々

その他多くの事項に取組みました。
また、今期は新型コロナウイルスの対応・対策に係る協議の多い４年間となりました。

●議会モニターの活動なども、モニターさんのご協力を得ながら、毎回の会議開催前の説明会、懇談会などを続けてきました。

議会広報常任委員会（櫻井あけみ 委員長）

●令和４年度広報委員会メンバー
最後の編集作業を終えました。
○これまでの４年間は、多くはコロナ感染の中での取り組みでした。でも、「コロナで議会はとまらない！」のタイトルどおりに、町の対応、効果、説明を毎号で伝えてきました。
○議員の質疑もできるだけ多く伝えるように編集作業を進めてきました。
○読みやすくなった、わかりやすくなったという嬉しい声もいただきました。
○ウェブの活用もありました。
３月議会を終え、編集作業は４月いっぱいまで続きました。
●令和４年度と新年度の議会広報
１９９号　お届けします。

多かった質問　気になった質問

- ゴミのポイ捨て・知床のゴミ問題
- リサイクル、ごみ収集・学校給食
- おにぎり持参
- ウナベツ休養村管理センター
- 子どもの医療費無償化
- コロナウィルス関連質問
- ふるさと納税の実施・宿泊税
- 学校教育・学力向上
- 知床１００㎡運動
- 太陽光発電設置条例制定を
- 過疎債の目玉は福祉財源に
- 浅海資源活用の促進
- 複合温泉施設の必要性
- ゼロカーボンシティ 宣言
- 知床観光船事故、命を助けるために
- 知床観光の施設整備
- 広域ゴミ処理計画
- 生活支援をなぜ水道に？限定？

他・多数ありました。

- まだまだたくさんの質問が行われました。議員からの質問は、町のみなさんからの声です。こうした質問は、どうなったのか？過去の一般質問含めて、これまで同様に『追跡！』してお知らせしていきます。
- **前期４年間質問総数　２０７項目でした。**

まちの声

前期は20名の皆さんに議会へ・広報へ・町へ声を届けていただきました。ありがとうございます。これからも、みなさんのご意見やご感想を、議会に、議会広報に活かしていきます。ご協力よろしくお願いします。

保村さん　上元さん

斉藤さん　高山さん　米澤さん　阿部さん　松井さん

佐々木さん　二口さん　畑谷さん　加藤さん　平賀さん

桧森さん　上野さん　小木戸さん　桑島さん　川村さん

圓子さん　石井さん　澤田さん

議会広報常任委員長あいさつ

荒木　敏則

議会広報常任委員会は、いま議会で何をやっているのかを分かりやすくお伝えすることを目標に、私を含めた新任議員４名を含む６名の新メンバーで取り組んで行きます。

これからの広報内容につきましても、議員の一般質問の内容や判断、何が議決されたのかを全てお伝えすることは不可能ですので、わかりやすく簡潔に正確にお伝えしていきたいと思います。

どうすれば読みやすくわかりやすく伝えることができるのか、新メンバーで工夫を凝らしながら、これまで以上に町民の皆さんに興味を持っていただけるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

議会広報常任委員会メンバー

- Facebookで議会の情報を発信中!
- ホームページでは、議会インターネット中継、録画配信・会議録、広報も見ることができます。

http://gikai-sharitown.net/index.html

Facebook　ホームページ

斜里町議会　で検索

発行：斜里町議会　〒099-4192 斜里町本町12番地　☎(0152) 26-8392［直通］　編集：議会広報常任委員会